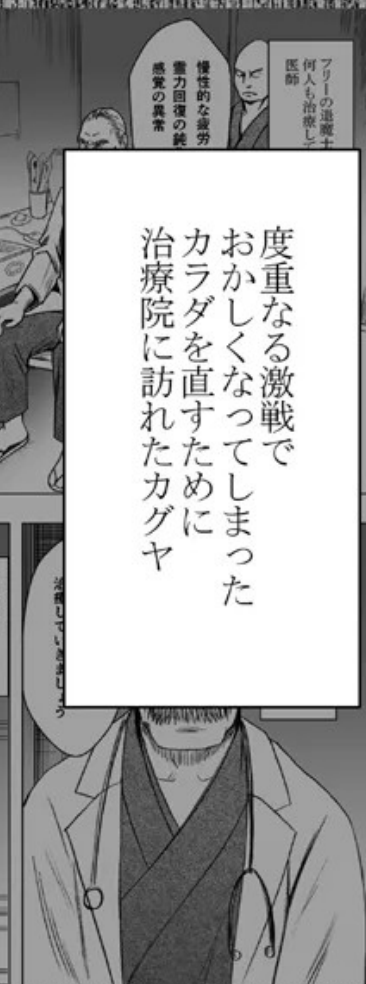




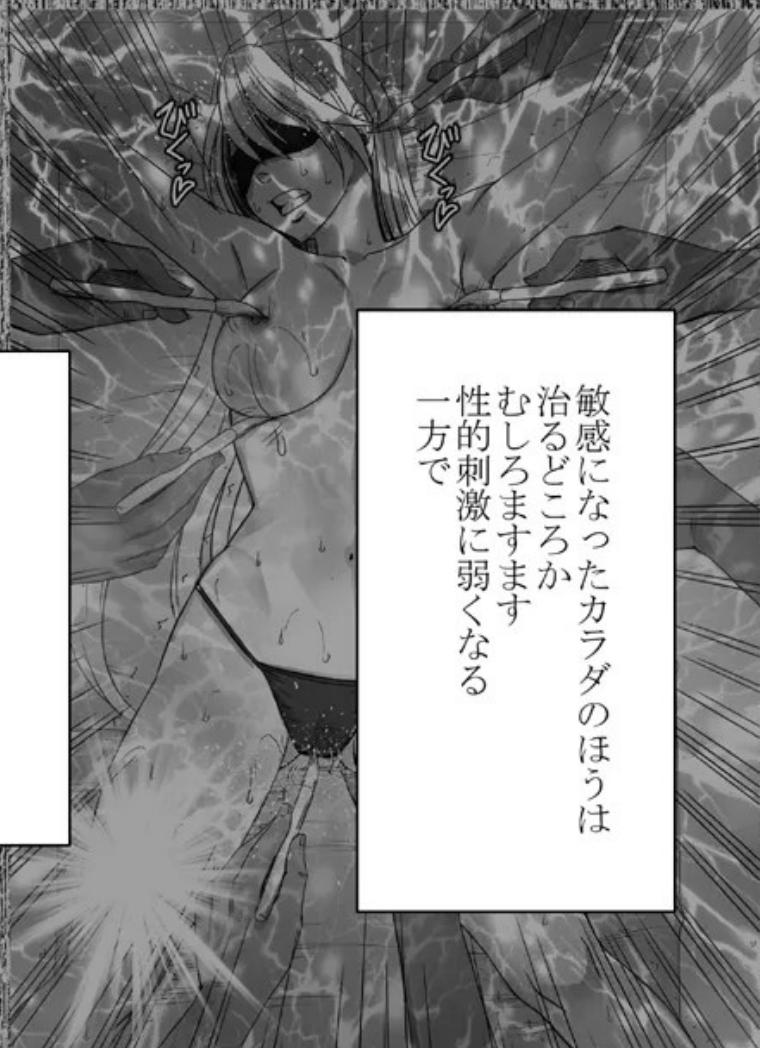
真カゲヤ5

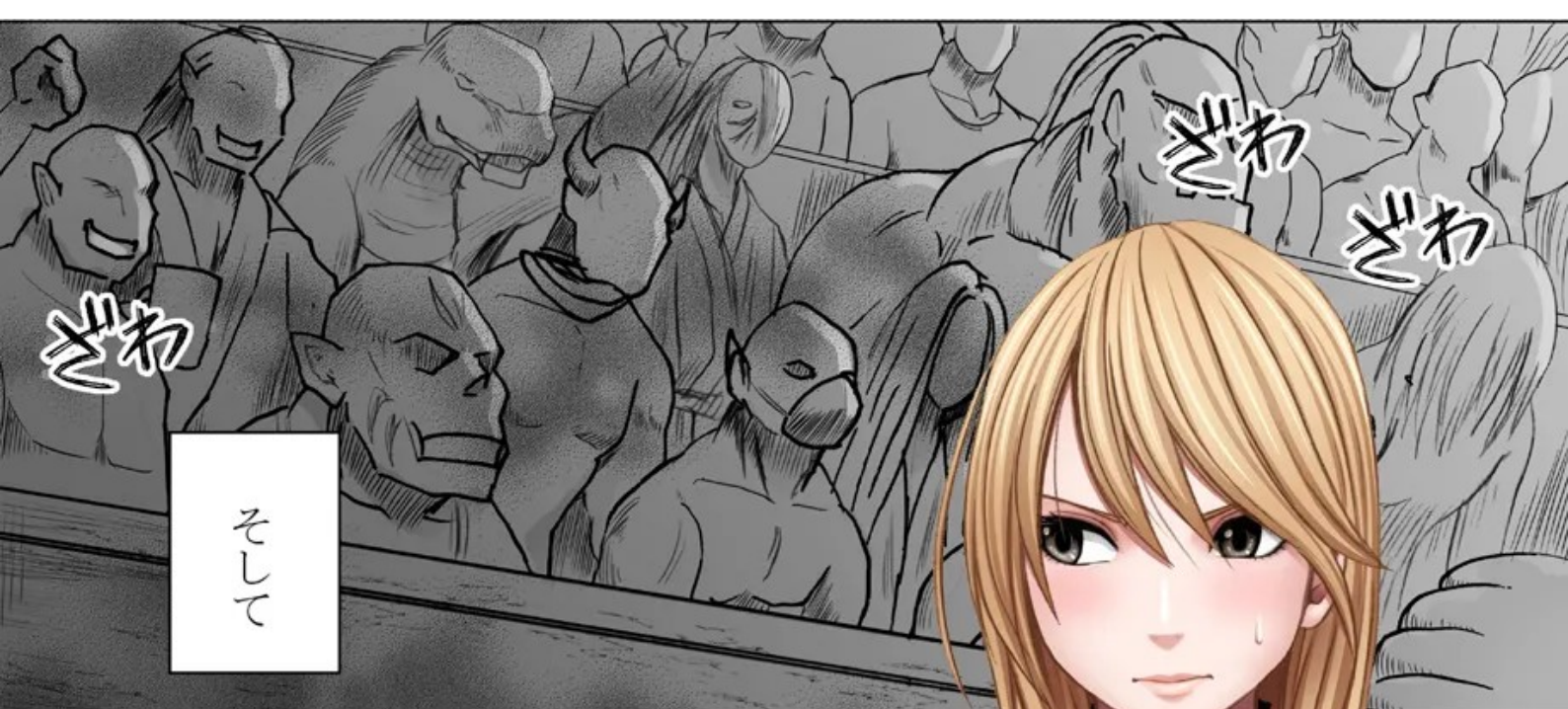
退魔士

DEVIL EXECUTIONER KAGUYA



激しい性感帯への
施術の連続で





そして



目が覚めた
彼女を待っていたのは





妖魔たちの
闘技場だった



あれは何？
人間？
捕らえられてる？

後ろの牢屋…

誰か…！

た…助けてくれ！

えっ…
ここは何なの？



妖魔たち？
人間も混ざってる？
どうなってるの？

周りには…
観客？



これは…？
何かの…
戦うための舞台？

闘技場？

ククク
ようこそ
闇の闘技場へ

今日の挑戦者は
フリーの中では
最強と言われている
退魔士！

あの淫狐ナユタをも
倒した豪傑！

カグヤ選手だ！



ルールは簡単だ

カグヤ選手が
これから
ここで10人の
妖魔たちに勝てば

牢屋に捕らえられている
イケニエたちは
解放される

ただし
カグヤ選手が自ら
負けを認めた場合

あのイケニエたちの
命は保証しない



どうして...
私はここに...?
どうしてわざわざ
こんな舞台に?

助けてくれ!

助けて!

そ...
そんな!

ぞわ

ぞわ



さあ
今日の10人の闘士たちの
登場だ...!

状況は
よく飲み込めないけど

ごちうにでも
やることは
変わらない！

あの人たちを
助けなきゃ……！！

いつものように
退魔士として

さあカグや選手は
あのイケニエたちを
救い出すことが
できるか？

人に仇なす
妖魔を倒す！

それだけのこと……！！

少なくとも
霊力は
回復してる……!!

やれる……!!

やるしかない!!





.....!!

おーっと
カグヤ選手

ざわ

開始早々
妖魔一人
撃破！

ざわ



気をつけろ！

ざわ

ざわ

うかつに
近づくな！



ざわ

あの女の子
強いぞ！

頑張れ！

頑張れえ！





なぜ
突然 闘技場に
連れてこられたのか？



なぜ
このようなことを
させられているのか？

状況はまだ
飲み込めては
いなかったものの

捕らえられた
人間たちの
期待を一身に背負い
戦うカグヤ



前日まで受けていた
治療のおかげで
霊力だけは万全の状態であり

ほぼフルパワーでの
戦闘

次から次への
妖魔たちをなぎ倒す

そのたびに
あがる歓声

強い！

いけるぞ！

オレたちは
助かるかもしれない！

しかし

そんな期待も
長くは続かなかった

戦い初めて
3時間

はぁ はぁ はぁ

フオフオフオ

まさかここまで
やるとは
思わなかったわい

数が多すぎる……！

くっ……
ダメだ……

終わらない……！

はぁ

はぁ





あああああ
ああッ!

さて
そろそろ

みんなのヒロイン様を
公開処刑する
時間かな?



双輪拘束法

!!
.....

ハッ

バ



強力な拘束妖術!?

動かせない…!!



くっ!

しまった…!?

手が…!!



ここからが
お楽しみの時間だ



フッフ

勝負アリ
ですか?



もう
残った少ない霊力では
どうしようも
あるまい



ここまで
大健闘を
見せていた
カグヤ選手
ですが

残り
4人のところで
ついに
拘束されてしまった…!!

フフフ
戦いはここまで

ここからは
ショーの始まりだ

やっ……!

姉っ♡
姉っ♡

ここからあなたは
恥ずかしい姿を
晒し続ける
ことになる



ここまでの
戦いは
お膳立て

あくまで
ヒロインに
仕立て上げるための
お膳だて

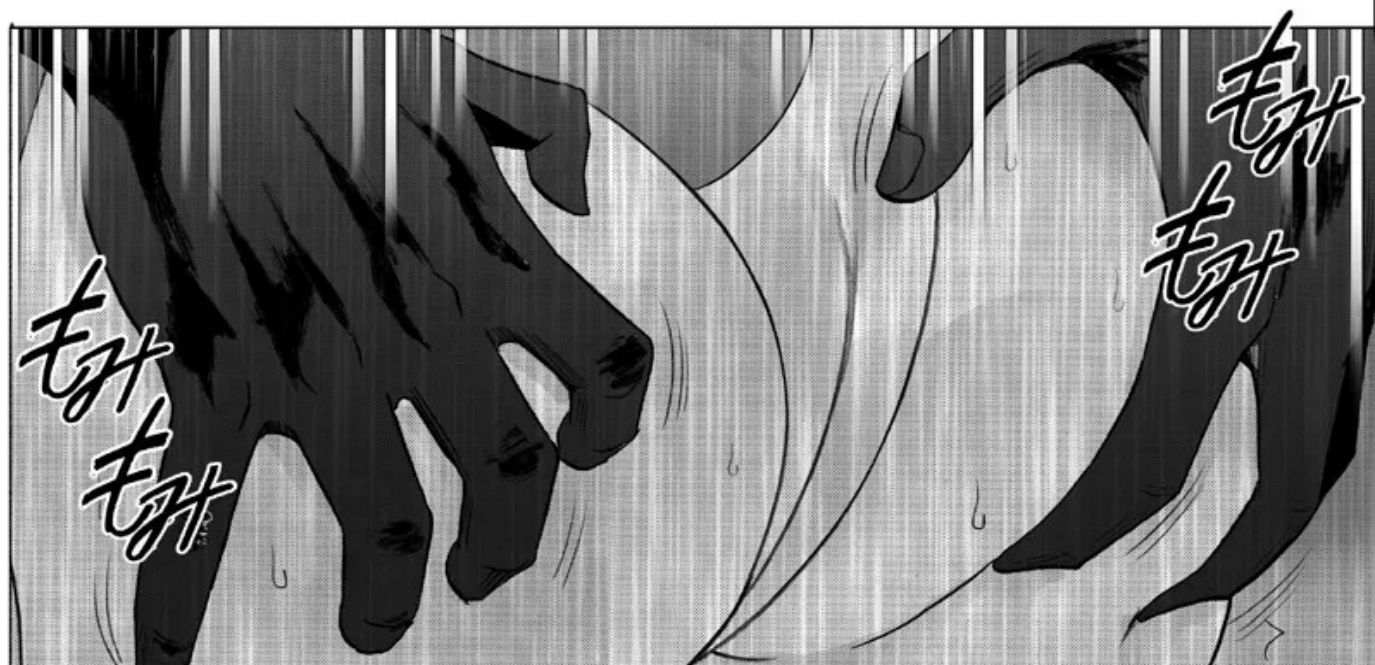
今まで
自分たちを
救ってくれると
思っていた
正義のヒロインが

なすすべもなく
犯される

そんな光景を
目の当たりに
することで
にじみ出る
歪な欲望

あの牢獄は
それを吸収する
ための装置

……!!







ふふふ
イケニエたちも
戸惑い始めたぞ？



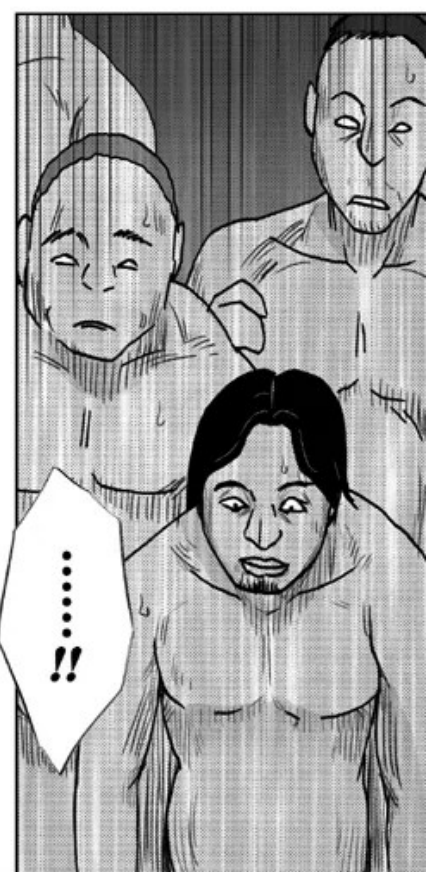
お…おい…
大丈夫なのか…？

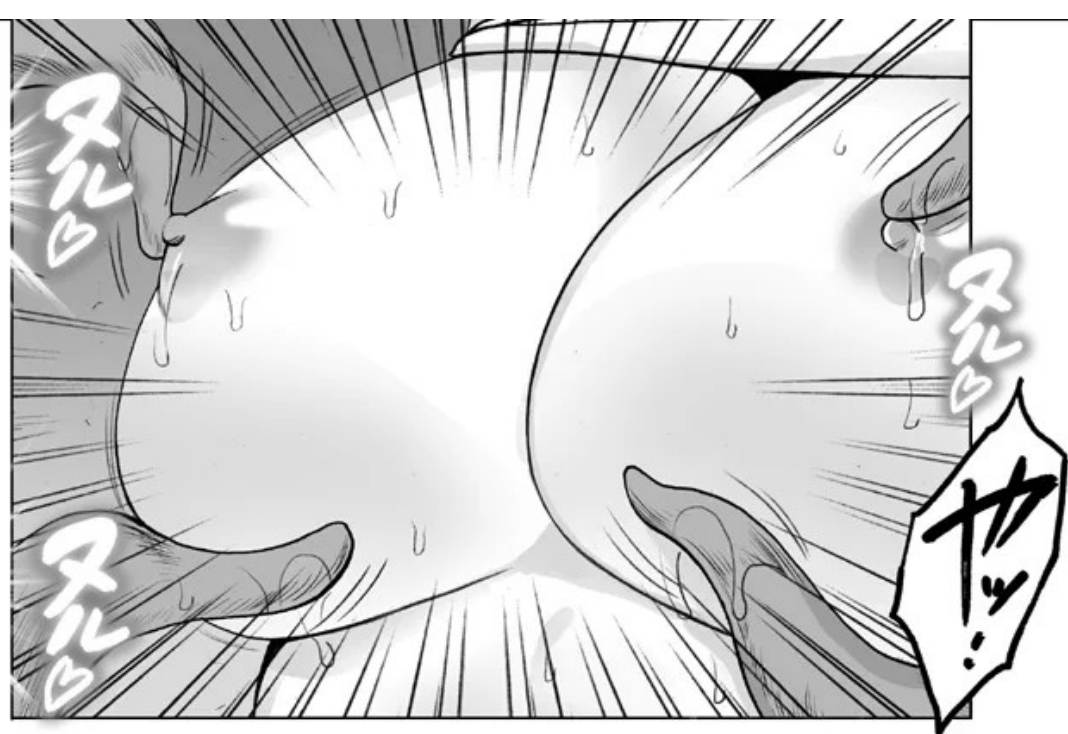


安心しろ
お前が
負けを認めない限り

あいつらの命を
奪ったり
することはない

負けを
認めさえ
しなければいいんだ

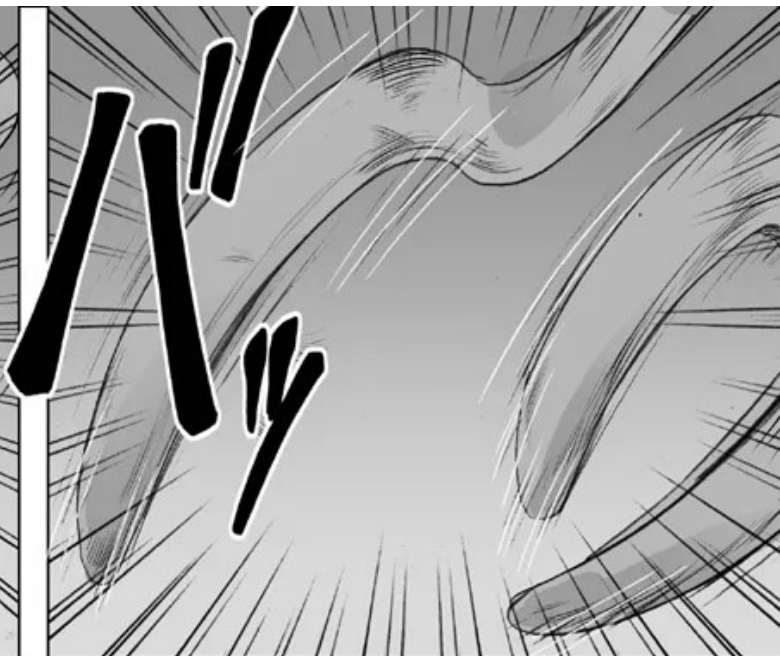




我慢なんて出来ない！







ほら
もっといやらしく
カラダをくねらせて
いやらしい声で
喘ぐんだ

ダメだ…!!

みんなが
見てるのに…!!



イクッ……!

ズン
ズン
ズン

ズン♡

ズン♡

イカされる!

まだ戦いは
終わったわけじゃないのに!

ズン
ズン
ズン

グチ♡

グチ♡



人質も救出
できてないのに!

ズン
ズン
ズン

こんなに
気持ちよく
させられるなんて……!





次はオレだ

すでに
淫水で何度も
調教されてるようだが



マテンタは
5回か

まずまずだな



オレは
淫魔始祖の眷属

オレの精液に混じってる
淫水は妖魔の中でも
特別だからな

淫水を塗られたところが
敏感になるだけじゃない

淫水を浴びた途端に
イクんだ



あああーダメ！

何なのコレ……！

液体に触れた部分が
熱くなって！

ほらほら

ダメ……！
本当に！

次はココに
直接
ぶっかけてやるよ

ドキッ

たっぷり出してやるから
イキまくれよ！

シャッ

ほら

びゅん

グッ







ビュッ
パッ

イクッ...

パッ

次は私の番ですね

フフフ

私は
自在に体の形を
変えられますからね

これからこの体を
いろいろ
変形させて

あなたにとって
最高の

一番気持ちよくなる
形態を探っていきましょうか

何なの
この妖魔は……？

……!!

それぞれの
性感帯を

もっとも
気持ちいい
責め方で

アハハ

アハハ

ヤッ

アハハ
アハハ

あハハ

アハハ
アハハ

どこまでも
絶頂に
導いてあげましょう

ああ……！
性感帯……！

びくびく

はあ

はあ

探られてく……

アハハ
アハハ

アハハ
アハハ

的確に気持ちいなりとを突いてきて…!!

耳はこう？

背中
中はこう
ソフト
タッチで…

アナルは
これくらい…

フフフ…
どんな
反応が
良くなっ
てきて
いますね



いや...
もっとこうですか？

膣内は...
こう...？

フフフ いい反応だ
どうやら
こういうのが
一番イイみたいです

ググッ

アッ

ぬん

ぬん

ぬん

ぬん
ぬん

ズル

ズル







イカされる...!!

おっぱい大好き

ペロペロ

ペロペロ

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

スッ

オヌシのカラダの
性感帯をすべて
胸に集中させてやろう

自在に操ることが
できるのじゃ

ワシは
女体の性感帯を

フフフ…

次は
ワシじゃな

フオフオフオ

12回か

はあ

はあ

性感操法



さあこれで
オヌシの性感帯は
胸に集められた

フッフフ…

触ると
どうなるかな？

……!?

驚くほど
気持ちいいから
覚悟せい

スッ

ほれ

ズン

ムム
ムム

ムム
ムム



ただでさえ
全性感帯である
オヌシが
その性感帯を
一点に集中されたら

もうひとたまりも
あるまい



ダメだ……こんなの！

見ないで……！



ほれほれ
みんな
見ておるぞ



さっきまで
あんなに

勇ましいオヌシの
活躍に
目を輝かせていた
あいつらが



ガマンできるわけない…!!

びく

びく

ひひ
ひひ

ひひ
ひひ

そうそう
これは

イク回数を
競う勝負じゃったな

回数だけ
イカせるのなら

あまり
深くイカせないほうが
良いかな？

どれどれ
連続でイカせてやろう

ほれ
淫水も追加して
やろう









34回か

さすが
ですねえ…

今回は
ムリヨウ爺の
勝ちだな



ダメだ…!!

フル♡



何もできない!



やられる…!!



フオフオフオフオ

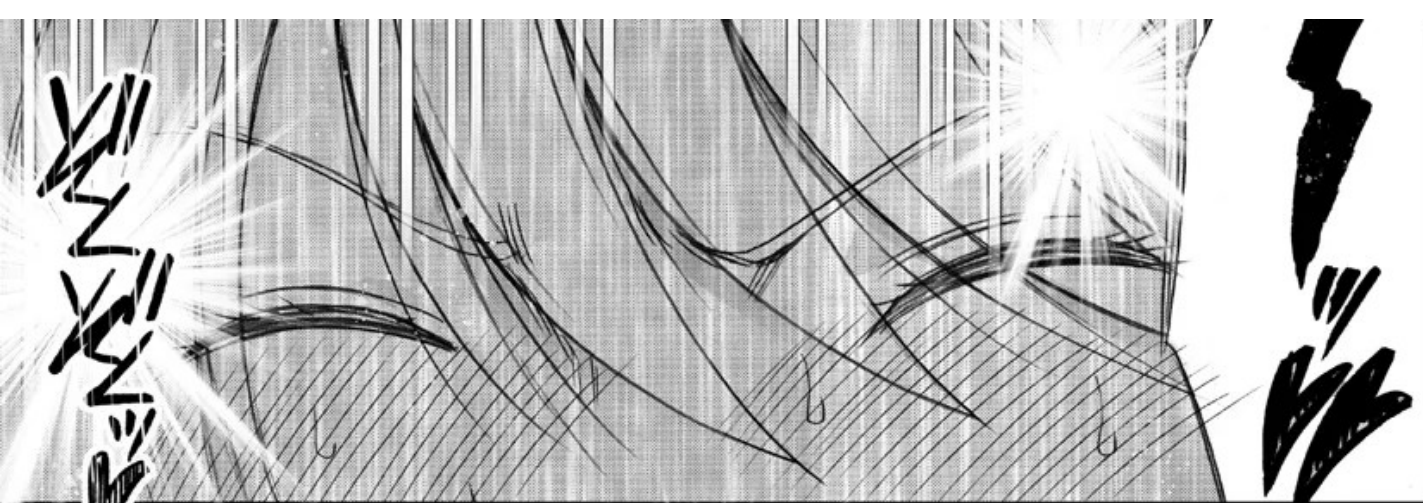
では
ワシから

この極上の
カラダを
いただくとするか



ほうら...

カッ
ドン



みんなが
見てる前で……!!

そうそう
乳首に性感帯を
集中させてたん
だったな

クッ

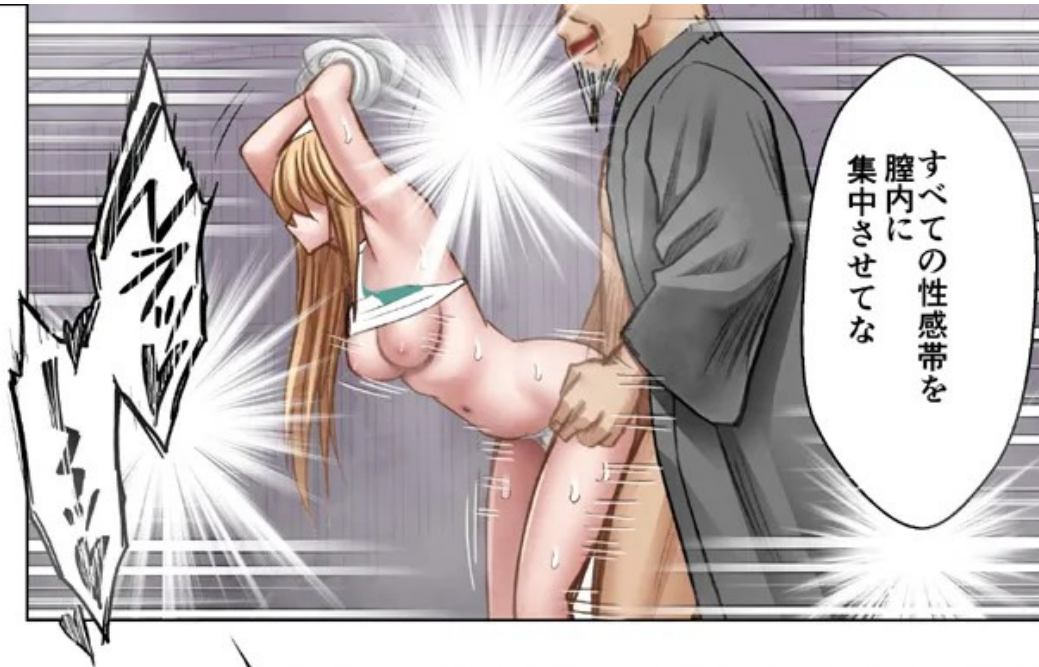
フル♡

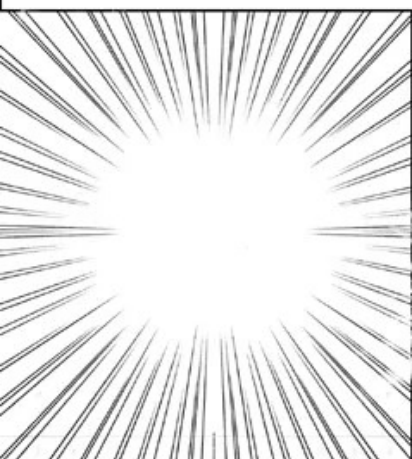
71



どうかな？
乳首を翳られながらの
挿入は…

フッフ…





イカされすぎて
霊力が…もう！

もう…
勝てない…!!





あの
イケニエたちは
終わりじゃぞ？



フオフオフオ
いいのか？
あきらめても…

負けを認めたら



はじめに言った通り

オヌシが自分から
負けを認めない限りは
あの者たちの命は
保障される

びくっ

ぶっ

びくっ
びくっ

たとえこのまま
イカされ続けて
失神したとしても

自分から負けを宣言さえ
しなければ
いいのじゃ



みんなの命だけは…!!

自分で負けを認めさえ
しなければ…!!



私はこのまま…!!



やられ続けるしかないの!?

あきらめろ



せめて…!!

意識だけは
はつきり保っておかないと!

ズッ

通常の戦闘は
もう終わり

オヌシが
勝つのはもう
ありえぬ

観客が
期待しているのは
次の勝負

ここからは
オヌシが
堕ちるかどうかの
戦いじゃな
フオフオフオ

ほら
そろそろ乳首以外に
性感帯を移動させてやろう

まずは
すべての性感帯を
背中に：

スリッ

スリッ

そして尻に…





ここから
すべての性感帯を

まだじゃ
まだイッては
ならんぞ？

女陰に……



うそ…!!

こんなにツ!

ダメ!

イクツ!

イクツ!

ダメダメダメ!

意識が飛ぶツ!



